第１２４号　令和２年５月２３日発行

# 球磨んタイムズ

TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI OKAHARU

地域と読者の架け橋

編集・発行
熊日多良木販売センター
球磨郡多良木町大字多良木 356-1
TEL 42-3355　FAX 49-1726
http://www.taragi.com/
熊日湯前販売センター
球磨郡湯前町中里 1830　TEL 43-2151
㈹小出堅太郎　石田敏郎　那須信一
編集：岩水由香
球磨んタイムズは当社ホームページでもご覧頂けます。また facebook ではコーナーごとに掲載中。「熊日多良木販売センター」を検索して下さい。

## いつも熊本日日新聞をご愛読いただきありがとうございます

毎月２回（第２・４土曜日）発行してきましたミニコミ紙「球磨んタイムズ」ですが、６月の発行分から、毎月１回（第４土曜日）のみの発行に、当面の間変更します。

「いつも楽しみにしている」「掲載してもらって、いろんな方から声をかけてもらった」、、、など、私たちもそんな温かいお言葉に励まされながら、球磨んタイムズを発行して参りました。しかし、新型コロナウイルスの影響で、当販売センターも大きな打撃を受けており、苦渋の決断ですが、今回の決定と至りました。また発行回数を減らすことで、いくつかの連載コーナーを見合わせる／縮小することにしました。楽しみにされていた方には、誠に申し訳ございませんが、ご了承ください。

最後に、これまで通り、より身近な地域の情報をお届け出来るよう努めて参りますので、引き続き熊本日日新聞をどうぞ宜しくお願い致します。

多良木町久米の日高理容店で、100 種類約 110 本の薔薇が満開になりました。7 前から薔薇の栽培を始められ、この時期になると「肥料をやったり、害虫や病気の予防のための薬の散布で大変です。でも毎年 10 回位、色々なメンバーと花見をするのが楽しみです」と日高さん。「ただ今年は新型コロナウイルスの発生でできないかと思っていたが、緊急事態宣言が解除されたので、長男会のメンバーで花見ができて良かった」と喜んでおられました。

## 新型コロナウイルスの終息を願って

湯前町の山浦艶子さんと、お嫁さんの紀子さんのお２人が、このほど新型コロナウイルスの終息を願って、「アマビエ」のお人形とイラストを制作し、自宅や職場などに展示されています。既にご存じの方も多いと思いますが、アマビエとは江戸時代に肥後の国（現在の熊本県）の海中から現れた半人半魚の妖怪。豊作や疫病の予言をし「病が流行ったら私の写し絵を人々に見せよ」と告げて、海に戻ったと伝えられています。

今回制作されたアマビエは、材料がＴシャツやタイツ、靴下など不要になった物で作られており、自宅にあるものが１番大きくて約 30cm あります。お２人で力を合わせ約２日間で完成したそうです。元々艶子さんは退職をされてから、パッチワークやひな人形作りなどの愛好者が集う「ひなの会」（同町）に所属されていることもあり「こういう機会だから、１日も早く新型コロナウイルスが終息して欲しいという思いで作ってみました」とのこと。また紀子さんはお勤めになる、湯前町高齢者生活福祉センター湯愛の玄関窓口に設置されています。以前チラシやポスターを作るお仕事をされていた経験が活かされているそうですが、お２人でぴったり息の合った、素敵な合作となりました。また、布マスクも制作されており、親戚や友人、湯愛の職員さん、、、などに、差し上げておられるそうです。

「湯愛」の玄関窓口

布マスク

## ゆのまえちょこっとボランティア「ささえあい」発足
### ～新しい支え合いのカタチ～

湯前町の有償ボランティアグループ、ゆのまえちょこっとボランティア「ささえあい」（濱中誠会長）が今年の４月に発足しました。日常のちょっとした困りごと、庭の手入れや高所作業など、お客様の様々なニーズに応え活躍しています。利用対象者は高齢者や障がい者、子育て世代で「ささいなことで頼みにくい」といった悩みに寄り添い、好評を得ています。当グループではお手伝いする人を「協力会員」、頼み事をする人を「利用会員」として事前登録しています。１回 30 分以内で料金は 100 円。200 円で 60 分まで利用可です。

【お問い合わせ先】　湯前町社会福祉協議会　　４３－４１１７
湯前町保健センター　　４３－４１１２
担当　（生活支援コーディネーター）黒木真也さん

次のページへどうぞ

## 庭で行きあたった花 No.2

双葉葵
４月から５月に根元に咲く 1cm ほどの花です。ハート型の葉をしていて、水戸黄門で知られる「三つ葉葵」のモデルになったウマノスズクサ科の植物です。

乳茸刺

薄葉細辛

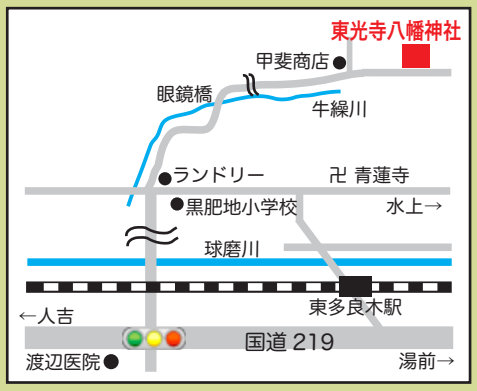
羽蝶蘭

乳茸刺
６月～８月に咲く 5mm ほどのユキノシタ科の多年草です。乳茸刺の硬い茎に乳茸（食用茸）を刺して持ち帰ったことから名前が付いたそうです。

## 球磨ん文化財巡り NO.59

# 多良木町指定有形文化財 東光寺八幡神社

1243 年（寛元元年）の「関東下知状」（相良家文書）に東光寺村との記載がある。祭神は宇佐八幡と同体で草創年紀不明。1260 年（文応元年）上相良家第２代当主、相良頼氏が再興した神社です。東光寺出土経筒の埋納者となっています。「大神宗氏」は、八幡神社の宮司職と思われます。現在の拝殿は戦国時代頃に建立された本殿を明治時代初めに拝殿に転用したものです。




# 臨時休業中の球磨支援学校の取組

新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業（休校）期間が延長され、ご家庭では不安やご苦労が少なくないと思います。また、外出自粛に伴い、子供たちの運動不足やストレス、学習指導についても心配されるところです。

そのような中、球磨支援学校では生活習慣や学習習慣の維持を目的として、各学部の職員それぞれが、趣向を凝らした動画を制作し、ホームページで配信を行なっています。高等部では、布製立体マスクの作成手順動画をいち早く配信し、それぞれのご家庭に布やゴム等、手作りキットを郵送しました。また、小学部では手洗いの方法やダンス、中学部では体幹トレーニングや、手伝いの際に参考になるようにと掃除や台ふきの方法を紹介する動画等を制作し、配信しています。

自分たちの学校の先生が映っている動画を観ることで子供たちが安心し、楽しみながら動画を活用してほしい、という思いを込めて取り組んでいます。地域の皆様にも、ご活用いただければと思います。

不安な日々が続きますが、みんなが日常を取り戻し子供たちが安心して登校できる日がくるまで、感染拡大防止に努めていきたいと思います。

（原稿・写真提供：球磨支援学校）

## 暖談なぁ～

◆新型コロナ禍で外出がはばかられ、狭い庭で深呼吸するぐらいがせめてもの息抜き。伸び放題のドクダミが目につくので抜き始める◆シャベルで掘り起こして引っぱるけれど、庭木の下、ブロック塀の隙間などまで、それこそ縦横無尽。ちょっと力を入れるとプツン◆雨で１日おいたら、残った根からちゃっかり芽を出している。でも、ウイルスの不気味さはこんなもんじゃない。季節要因で活動を弱めることがあっても、油断は禁物、怖い。（Ｘ）

# 新聞記事を楽しむ！ NO.62

## ～桃、ぶどうの木と北京ダックから～

休校が５月末日まで延長され、連休５日間は、７日から始まる家庭学習の教材を作成しながら、連日朝早くから南稜高校の農場で、桃、ぶどうの手入れをされている先生の手伝いをして過ごした。わが家の２０年ほど育った桃の木から、未だに一個の収穫もなく、どうすれば桃が収穫できるのか学びたい思いがあった。植木市やホームセンターで苗木を購入し、植えると花が咲き、実になり、育ち、収穫できると簡単に思っていた。見まねで剪定したり、袋掛けを試してみたけど、収穫にはたどり着かなかった。ところが、４月から始めた桃の摘果、ぶどうの手入れ、草刈りの手伝いで、果実の成長や変化を判断されて、てきぱきと手入れされる姿を眺めながら、果樹についての知識と本質が抜け落ちていたことに気がついた。また、桃の摘果をしている時、農業の先生が「桃の木もぶどうの木も、私たちの足音を聞き喜んでいるのですね。足音の数に応えてくれますね。私たちは少し手助けするだけで、あまり木々の力になっていませんが」と物静かに話された。え、経験から学んだ本質も知らずに、薄い知識で話している自らにすごい嫌悪感を覚えた。そして、木が雨、日光、気温や携わる人の気持のリズムで成長していく樹形に目を見張った。さらに、小さな、ささやかな中に大事なものが含まれていることを感じながら、自然からの恵みをいただき、自然のリズムとつながり、生ることがとても大切ではないかと思い及んだ。４月から始めた南稜高校の農場での桃やぶどうの摘果の経験が、今日の新聞（１０日）のレジャー・旅の面、屋久島ものがたりの記事、「安房川に渡り鳥の北京ダックの家族が、寒くなると、どこからともなくやってきて、春の香りが漂う頃にいなくなってしまう。一斉に飛び立ったかと思うと一羽ずつ、順序よく、水面に降りてくる。生き物たちの中に確かに刻み込まれているのであろう野生のリズムに、心が奪われてしまう。」に重なった。

（原稿提供：南稜高校　川北禎一先生）

## 園児紹介　岩野保育所　うさぎ組１組（年長児）１１名

担任 谷口杏奈 先生

何をするにも一緒と、とても仲が良くて、体を動かすことが大好きなうさぎ組さんです。５月 22 日の「ありがとうの日」にはいつもの感謝の気持ちを込めて、家族にプレゼントを作りました。

## 多良木警察署だより

# 「自転車の安全な利用」について

### 平成 31 年・令和元年の自転車交通事故発生件数

| | 人身事故発生件数 | 死者数 | 負傷者数 | 物損事故発生件数 |
|---|---|---|---|---|
| 熊本県内 | 616 | 11 | 609 | 4100 |
| 多良木警察署管内 | 2 | 1 | 1 | 21 |

自転車事故発生件数の内、出会い頭事故が約 2500 件発生しており、交差点での事故が半数以上を占めている

### 平成 31 年・令和元年発生の熊本県内自転車交通事故の年齢別発生死傷者数

| | 幼少 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 20 歳未満 | 20 歳代 | 30 歳代 | 40 歳代 | 50 歳代 | 60～64 歳 | 65 歳～ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死亡事故 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 7 |
| 負傷者数 | 2 | 31 | 50 | 121 | 36 | 83 | 59 | 70 | 33 | 23 | 92 |

自転車を利用される方へ

自転車も車両であることを十分理解し、交通ルールを遵守するとともに安全運転に努めましょう。

※自転車を利用するに当たり交通ルールを再度確認しましょう。

○基本的に車道を走行し、左側を通行する。
○歩道を通行する際は、車道よりを走行する。
○自転車も一時停止標識に従い、停止線で停止する。
○友人等と走行する際は、並走せず一列になって走行する。
○道路を横断する際は、斜め横断をしない。

等気をつけ、危険な運転をしないように心がけましょう。

（原稿提供：多良木警察署）

次回の発行日は６月２７日（土）予定です。お楽しみに!!